



日本学術会議主催 国際公開シンポジウム 災害に対するレジリエンス構築

再来する災害。 再生する社会。

日時 2013年 1月 14日(月/成人の日) 13:00 - 17:00

会場 帝京大学板橋キャンパス 本部棟2F 臨床大講堂
東京都板橋区加賀2-11-1

- JR 埼京線「十条駅」下車、徒歩 10 分
- JR 京浜東北線「王子駅」下車
国際興業バス 6 番のりば 板橋駅行 10 分、
「帝京大学病院」下車

モデレーター 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授／山本 秀樹

入場無料

13:00-13:15

開会の挨拶

日本学術会議会員、日本学術会議 災害に対するレジリエンスの構築分科会 委員長、
北海道教育大学 教育学部 教授／氷見山 幸夫
帝京大学 学長／沖永 佳史

同時通訳あり

定員：200名(要申込み)

13:15-16:00 (途中休憩あり)

2004年インド洋スマトラ沖地震による津波災害

バンダアチエにおける津波災害の事例

インドネシア・アチエ大学 公衆衛生学部長／アスナウィ・アブドール

プーケットの津波災害の事例

タイ国・チュラロンコン大学 公衆衛生学部長／スラサック・タニーパニッチクル

2011年東日本大震災

高齢化社会における津波災害 - 石巻市の事例

帝京大学 医学部 助教／井上 真智子

原子力災害と健康問題 - 福島県民調査から

日本学術会議連携会員、福島県立医科大学 教授／安村 誠司

災害研究センターの役割

香港中文大学 災害医療人道援助支援センター 所長／エミリー・チャン

16:00-16:40

パネルディスカッション

全講演者と指定発言者 (下記)

米国・ハーバード大学公衆衛生大学院教授、米国科学アカデミー会員／イチロウ・カワチ

英国・ケンブリッジ大学公衆衛生学研究所／ピーター・バクスター

世界銀行 東京事務所 上席災害管理官／石渡 幹夫

上智大学 総合人間科学部心理学科 教授／久田 満

16:45-16:55

総括 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 助教／井上 まり子

16:55-17:00

閉会の挨拶

日本学術会議連携会員、日本学術会議 災害に関するレジリエンスの構築分科会 副委員長、
帝京大学大学院公衆衛生学研究科長／矢野栄二

申し込み方法

下記 URL に申し込み方法の記載と申込用紙が掲載されています。尚、シンポジウム終了後に、イチロウ・カワチ教授の特別講演とレセプションも開催されます。 <http://harvardspecialsession.web.fc2.com/specialsession.html>